

別記様式（第 5 条関係）

会 議 録

会議の名称		令和 7 年度第 1 回福津市公民館運営審議会
開催日時		令和 7 年 9 月 4 日 (木) 1 4 時 0 0 分から 1 4 時 4 5 分まで
開催場所		福津市中央公民館 2 階 研修室 1
委員名		出席委員：安德尊博、幸坂由恵、村本朗子、佐藤香奈子、増井久美子、 漆谷慎一、田島勝彦
所管課職員職氏名		郷育推進課長：芹野文彦、中央公民館長：徳永理恵 公民館係長：瀧口純一
会 議	議 題 (内 容)	議 案 (1) 令和 6 年度中央公民館利用状況について (2) 中央公民館主要事業について ・ 令和 6 年度実績報告 ・ 令和 7 年度の取り組み (3) その他
	公開・非公開 の 別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非公開の理由	—
	傍聴者の数	0 人
	資料の名称	・ 会議次第 ・ 令和 6 年度中央公民館利用状況について ・ 中央公民館主要事業について ・ 令和 7 年度福津市中央公民館生涯学習サークル一覧
会議録の作成方針		☐ 録音テープを使用した全文記録
		☒ 録音テープを使用した要点記録
		☐ 要点記録
		記録内容の確認方法：会長による確認
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 館長あいさつ

人事異動に伴う委員異動の報告（高木委員の解嘱及び村本委員の委嘱）

2. 会長あいさつ

3. 議題

（1）令和6年度中央公民館利用状況について（事務局が資料にそって説明）

議長：ご質問のある方は、お願いします。

委員：稼働率と利用人数の中に、郷育カレッジの分は入っているのですか。

事務局：はい、郷育カレッジの利用人数も入っています。

議長：この数字を見ると、リハーサル室のニーズが飛び抜けて高いというのが分かりますね。やはり利用しやすいだろうなという感じがします。

委員：中央公民館は、利用者数についての目標となる数値みたいなものを設けてもいいのではないかという気はします。

事務局：貴重なご意見、ありがとうございます。ただ目標を設けたとしても、来館者によるものが大きいので、正直、難しい部分もありますが、検討したいと思います。

議長：数値目標を設けるのかどうかは検討していただいて、今後、ホールのことも含めて、公民館の機能が変わってくると思いますので、よろしくお願いします。その他、ご意見はありませんか。

（2）中央公民館主要事業について（事務局が資料にそって説明）

議長：ご質問のある方は、お願いします。

委員：公民館合同研修会は、講師を呼んで講演してもらうという形のものですか。福津市内の自治公民館長と主事が集まるわけですし、各自治会の中で、色々な課題とかあるのではないかと思います。研修会の中で、意見交換するような場はないのでしょうか。

事務局：はい、この研修会は、講師による講演を主としたもので、そのような意見交換の場というものは設けてはおりません。

ただ、今年度第1回研修会の際に、アンケートを取り、その中で、「自治公民館の運営等でお困りのことがあれば、教えてください。」という項目を設けました。今回のアンケート結果を踏まえ、今後、情報提供していったり、意見交換の場を設けたりすることにも取り組んでいきたいと思っています。

委員：前に戻りますが、先ほどの稼働率には、未来共創センターの分は入っていないですね。

事務局：未来共創センターは、地域コミュニティ課が担当部署となっておりまして、担当課としては、何人の人が来ているのか実績を把握していると思います。未来共創センターは中央公民館の中にありますが、設置目的も法的根拠も違うもので、公民館の稼働率と利用人数の中には入っていません。

委員：生涯学習サークルの数が21団体から17団体に減少していますが、何か理由はありますか。

事務局：今回、サークルとしてのカウントの仕方を整理したというところがあります。生涯学習サークル一覧の4つの団体については、昨年度まで活動の曜日等に分けて、別サークルとしてカウントをしていました。同じ団体名の同じ指導者によるもので、曜日によって、メンバーは違うというのはあるのですが、これは、1団体として数えるべきではないかというところで、整理をしました。サークル数としては、4団体減となりましたが、実質的には減少していません。

委員：公民館合同研修会は、強制参加ですか。

事務局：届出いただいている自治公民館長及び主事の方に、開催通知を送付していますが、強制参加ということではありません。

委員：利用者数の推移についてです。ここ数年、減少傾向ということではないですか。

事務局：新型コロナウイルス感染症の拡大があり、全体的な傾向がつかみにくいところはありませんが、令和5年くらいから回復傾向にあるように記憶しています。

委員：児童室は、どのような使い方をする部屋ですか。

事務局：主に託児に利用されています。

委員：中央公民館をもっと利用してもらうために、中央公民館の施設紹介やどのようなことで使えますよというような、何かアナウンス的なチラシなどがありますか。

事務局：今、パンフレットをリニューアルしているところです。昨年度は、市ホームページの中央公民館のページを大幅に見直ししました。

議長：先月の大雨で、今まで類を見なかった大きな災害が発生し、社会福祉協議会が主体となって、中央公民館に災害ボランティアセンターが開設されていたかと思います。災害対策本部として、中央公民館はどのような形で活用しやすいのかなど、何か分かる範囲でお話していただけますか。

事務局：ふくとぴあは、今まで、最初に開設される一次的な福祉避難所として運営されてきましたが、今回の大雨で、ふくとぴあは一部浸水被害がありました。今回、災害ボランティアセンターを立ち上げるにあたり、ふくとぴあは、浸水被害のため、一部施設が使用できないこともあり、災害ボランティアセンターは、中央公民館内に開設されました。中央公民館内では、8月15日から8月末日まで運営され、9月に入ってから、ふくとぴあ内で、土日のみ運営すると聞いています。今回の大雨で、ふくとぴあは、場所的に水害に弱い施設であることが分かったので、市の災害対策本部では、今後の対応として、どの施設を最初の避難所に指定するのかは、状況によって判断していくことになると思われます。

（３）その他

事務局：福津市中央公民館におけるホール機能の統合及び閉鎖後の再活用について、少し報告させていただきます。現在、ホール機能の統合に向けて、公表するための準備を進めています。市役所内の行財政改革推進本部会議に諮り、正式決定を受け、教育委員会定例会及び全員協議会での報告を経て、公表する予定です。

ホール機能統合後の再活用については、1月24日に答申を受けた後、すぐに検討に入っています。再活用の前提となる安全性の確保（舞台の照明等を下ろす）には、大きな予算が必要となりますので、市の財政状況や市全体の事業の優先順位等を考慮しながら、市の執行部、財政部局等と協議を重ね、検討を続けていく必要があります。ここ数年、市の財政状況は大変厳しく、また、新設小学校の建設や市民生活に大きく影響する事業など、後回しにはできないものがいくつもある中、今年度中に、ホールの再活用についての方針決定は難しく、来年度にかけて、引き続き検討していくことになろうかと思います。

ホールの再活用については、現段階で、今後の方針をお示しすることができませんが、決定次第、お知らせしていきますので、よろしくお願いいたします。

議長：本日予定の議事は、全て終了しましたので、議事進行を事務局にお返しします。

事務局：福津市公民館運営審議会委員の任期が、令和7年9月30日をもちまして、満了となります。本日の会議が最後となるかと思います。村本委員は、本年6月からですが、皆様におかれましては、令和5年10月から2年間、審議会委員としてご尽力いただき、誠に有難うございました。

それでは、これをもちまして、令和7年度第1回福津市公民館運営審議会を終わらせていただきます。ありがとうございました。